



1981年度

準決勝で敗れたものの、史上初の3位入賞だった

FW戦圧倒も決勝に1点届かず

花園高を完封して臨んだ秋田工高との準決勝。後半、風上に立った熊谷工がFW戦で優位に立ちリードしたが、9—10とPGで逆転負けした。

第 **11** 回

悩み抜いた上での決断

66年、熊谷商工は、商業科の女子生徒の急増で、工業科との並立共存が困難となり、熊谷工業、熊谷商業に分離されることになった。そこで森監督を悩ませたのはどちらに行くかということ。商業科にラグビー部員が圧倒的に多く、翌年に控えた埼玉国体強化選手も商業科が中心だったが、ラグビーは全国的に工業高校が強いなどさまざまなことを熟慮した末、熊谷工業高校転任を決めた。これがのちの繁栄を左右した。

熊谷商工分離



Tradition